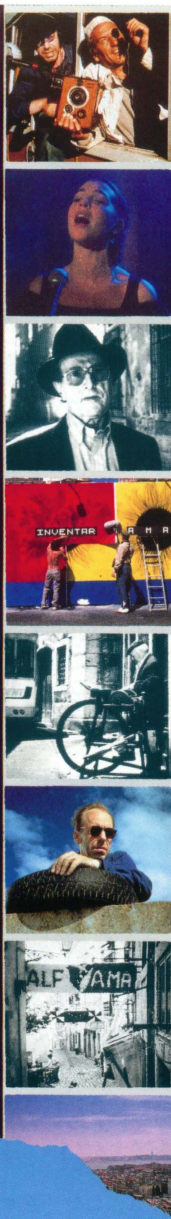


# LISBON STORY

リスボンには夢がある  
映画百年の夢がある  
マドレデウスの愛の歌がある  
失踪した映画監督の謎でつづる  
ヴェンダース新時代の爽やかな傑作!



# リスボン物語

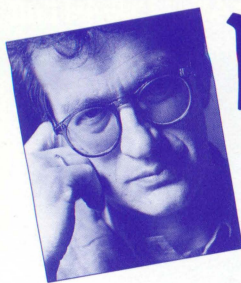
ヴィム・ヴェンダース監督・脚本作品

●95年カンヌ映画祭正式出品(ある視点) 招待作品  
●監督・脚本ヴィム・ヴェンダース ●撮影リサ・リンス  
ラー ●音楽マドレデウス(サントラ=東芝EMI) ●製  
作ウルリヒ・フェルスバーク、パウロ・ブランコ ●リ  
ュティガー・フォークラー、パトリック・ホーショー、マ  
ドレデウス、マノエル・デ・オリヴェイラ ●ドイツ映画/製  
作=ROAD MOVIES FILMPRODUKTION, MA-  
DORAGOA FILMES/製作協力=LISBOA 94,  
WDR © ROAD MOVIES FILMPRODUKTION  
GmbH, Berlin 1994 100%  
●協賛=ルフトハンザドイツ航空 Lufthansa

フランス映画社配給  
パウ・シリーズ作品

“明るい太陽の下では、音さえも輝く。”





# リスボン物語

## LISBON STORY

ヴィム・ヴェンダース監督・脚本作品  フランス映画社配給  
パウ・シリーズ作品

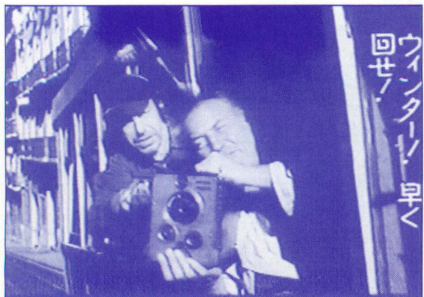


**映画百年の歴史に愛をこめてヴェンダースが贈る新しい傑作!**  
**果てしない夢を抱いてリスボンで失踪した映画監督の謎……**

リスボンには夢がある。映画が誕生した頃の夢を求めてリスボンで失踪した映画監督の謎を追う録音マンの物語、「リスボン物語」は、ヴィム・ヴェンダースが「ペルリン・天使の詩」に通じる夢と愛の心で描いたコメディ・タッチの作品で、95年カンヌ映画祭で喝采を浴びた最新作。

「夢の涯てまでも」(91)、「時の翼にのって／ファラウェイ・ソー・クロース!」(93)と続いた重量大作路線にひとつのピリオドを打っての「新しい出発」の作品だが、「ヴェンダースがロード・ムービーの初心にかえて、映画を作る喜びを取りもどしていることが嬉しく伝わってくる」(ル・モンド紙)。「ヴェンダースならではの自由な感覚、魔術的なすばらしい瞬間がいくつもあって、嬉しいヴェンダースが甦っている」(ステュディオ誌)。「『リスボン物語』はいつか彼の作品歴での新たな展開点として記憶されているだろう。詩的テンションが実に高い」(リベラシオン紙)と絶賛につつまれている。

長旅からドイツに帰った映画の録音マン、フィリップ・ウィンターは、親友で映画監督のフリッツこと、フリードリッヒ・モンローからの「SOS、録音機材を持ってリスボンに来てくれ」との知らせで、国境のなくなったヨーロッパを一路リスボンへ。しかしリスボンに着くと、フリッツは失踪していた。ウィンはフリッツの家で、美しい歌声のテレザとマドレデウスのグループや、ビデオ・カメラをまわしている子供たちに出会い、彼が撮影していたフィルムから彼の行方を探しはじめる……。



ヴェンダースが映画への愛と尊敬をこめた「リスボン物語」では撮影機や録音機も重要な主役。監督フリッツの夢は「キートンのカメラマン」(28)のような映画初期の自由そのものの撮り方を取り戻すことだったから、この映画に登場するのも、フランス製パルヴォの木製の撮影機で、なんと1910年製。一方ウィンの録音機は、最新鋭のドイツ製ゼンハイザーのマイクにソニー製DAT。歴史的撮影機と最新録音機が感動のドラマを生んでラスト・シーンに突き進む。



### ドイツからポルトガルから 精鋭クルーが結集!

主役は「都会のアリス」(74)「さすらい」(76)の「Mr. ロード・ムービー」、リュディガー・フォーグラがフィリップ・ウィンターを演じ、パトリック・ボーションが「ことの次第」(81)と同じ映画監督モンロー役で登場する。そしてヒロインに、＜マドレデウス＞のヴォーカルのテレザ・サルゲイロが本人役で出演。清楚な容姿で魅了し、天使の歌声を存分に聞かせてくれる。さらに、86才のマノエル・デ・オリヴェイラ監督も特別出演。プロデューサーのパウロ・ブランコをはじめ、ポルトガル側のスタッフは、オリヴェイラ映画のおなじみが結集。この映画の実際の録音マン、ピメンテルは「ことの次第」以来ポルトガルでのヴェンダースの全作品を担当している。ベルリンからは撮影にリザ・リンスラー、編集にペーター・ブルツィゴッダとアンヌ・シュネーほかロード・ムービーズの面々。



### マドレデウスはいつも傍に あってほしい音楽だ (ヴェンダース)

「リスボン物語」で音楽、そしてヴォーカルのテレザはじめグループの面々も俳優として登場するマドレデウスは、母国ポルトガルのみならず世界中で人気のグループだ。86年に「ポルトガルの民族音楽と室内楽の融合、そしてポルトガルの風景を音楽にすること」を目指して結成。87年にリスボンのマドレデウス地区の古い教会でライブ活動を始め、初のアルバムを発表。90年のセカンド・アルバム＜海と旋律＞がポルトガルで大ヒット。93年に初来日、さらにホンダのアコードのCM曲に＜海と旋律＞が流れ、話題を呼んだ。

ヴェンダースとは94年春に出会って意気投合、撮影に入る前に9曲を完成させてヴェンダースを驚かせた。「いつも傍にあってほしい音楽、強くて、静謐で、情熱的で、平和な音楽」とヴェンダースは言う。この映画のサウンドトラックであるニューアルバム＜アインダ＞は世界各国で映画公開に合わせてリリースされ、記録的なヒットをとばしている。

●監督・脚本＝ヴィム・ヴェンダース、撮影＝リザ・リンスラー、編集＝ペーター・ブルツィゴッダ、アンヌ・シュネー、音楽＝マドレデウス (サントラ＝東芝EMI)、ユルゲン・クニーバー、録音＝ヴァスコ・ピメンテル、制作＝ジョアン・カニージョ、製作＝ウルリヒ・フェルスバーク、パウロ・ブランコ●リュディガー・フォーグラ、パトリック・ボーション、マドレデウス、マノエル・デ・オリヴェイラ●1995年ドイツ映画／製作＝ROAD MOVIES FILMPRODUKTION, MADORAGOA FILMES、製作協力＝LISBOA 94, WDR / カラー、1×1.66 / ドルビーステレオSR / 全5巻 / 2,841M、1時間44分 / 協賛＝ルフトハンザドイツ航空  
☺ Lufthansa  
日本語字幕＝戸田奈津子 / 宣伝デザイン＝小笠原正勝  
© ROAD MOVIES FILMPRODUKTION GmbH, Berlin 1994●1995年カンヌ映画祭ある視点>特別招待作品

**1月13日(土)より  
ロードショー!**

高田馬場駅前・稲門ビル4F

**高田馬場東映パラス**  
(3208)6606

**★特別鑑賞券 ¥1100 発売中**

(当日料金) 一般 ¥1500 / 学生 ¥1200

(時間)

|    |       |      |      |      |
|----|-------|------|------|------|
| 連日 | 12:25 | 2:30 | 4:35 | 6:40 |
|----|-------|------|------|------|